

一般社団法人日本バルブ工業会 創立70周年迎え記念式典を 盛大に挙行

中期活動計画「V70」の目標達成し、さらなる発展を
女性活用や若手育成に力、会員数200社目指す

月刊コア編集部

一般社団法人日本バルブ工業会（西岡利明会長）は6月6日、東京・千代田区の大手町サンケイプラザで第12回通常総会および創立70周年記念式典を盛大に挙行した。総会では予定していた全議案を原案どおり承認。70周年記念式典では特別功労者表彰などを行い、中期活動計画の目標達成を目指す姿勢も改めて確認した。



西岡会長

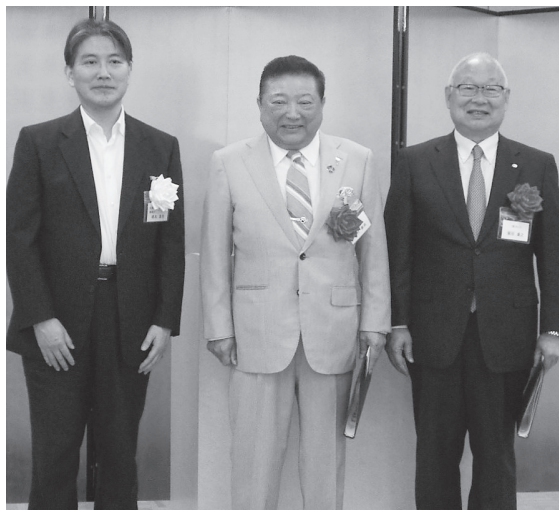
当日は会員企業や来賓など約300名が出席。総会では2023年度決算を満場一致で承認するとともに、2024年度事業計画・予算の報告も行った。今年度は3カ年中期活動計画の

初年度に当たり、工業会の価値向上や会員の満足度向上に資する事業を展開する。適正取引や物流問題、労務費適正化など山積する課題に対しても解決を図っていく。

また80周年に向けた今後10年を「V80」と標榜。2026年度までの3カ年計画をステージ1と位置付け、サステナブル(持続可能性)に関する施策推進、次世代の人材育成、働きやすい職場づくり、事業活性化による認知度・満足度向上、業界ネットワークと産官連携による地位向上に取り組む。

紆余曲折乗り越え多分野で活躍

記念式典は濱崎雅幸専務理事の司会で進行。はじめに西岡会長があいさつし「当工業会は1954年に発足し、賛助会員を含め187社まで仲間が増え



右から堀田前会長、中村元会長、橋本審議官



記念式典の様子



蝶花楼桃花師匠

た。多くの分野で活躍してきた証であり、70年間の紆余曲折を協力して乗り越えながら現在に至っている。過去に経験のない大規模自然災害も起きたが、人々が安心して暮らせるよう尽力してきた。今

年3月で終了した中期計画“V70”はおおむね目標を達成でき、今後は10年後を見据えた“V80”を始動する。女性の活用や若手育成を加速して当工業会を盛り上げ、会員数200社を達成したい。今後も全会員の力を結集しながら積極的に事業を推進し、さらなる発展を目指す」と力強く抱負を語った。

次いで来賓を代表し橋本真吾経済産業省製造産業局審議官が「パルプはインフラをはじめ幅広い分野で国民生活・経済を支える重要な製品。近年は適用の場も拡大している。工業会は環境に対応した取り組みを積極化しており、今後も引き続き活躍の場を広げてほしい」との祝辞を述べた。特別功労者として中村善典元会長（金子産業(株)会長）に経済産業大臣賞、堀田康之前会長（株キッツ会長）に製造産業局長賞を授与した。さらに大

山健二郎脱炭素化委員会委員長が脱炭素化への取り組み目標、若手経営者グループ・清流会の前田崇統会長が社会貢献事業について報告し、大石秀晴70周年記念事業実行委員長の閉会あいさつで終了した。

記念講演や パネルディスカッションも実施

記念講演会は、女性落語家の蝶花楼桃花師匠を講師に迎えて行った。「努力は夢を叶えてくれる」の演題で講演し、入門の背景

や2022年3月に真打に昇進するまでの苦労話などをコミカルに説明し、最後に高座を一席演じて来場者の笑いを誘った。次いで加盟企業の若手社員4名によるパネルディスカッションを実施した。「若手から工業会への期待」をテーマに、各自が持ち寄ったキーワードと関連するエピソードを披露。業務の中で励みになったことなどを紹介し、工業会に対する要望と自身の今後の目標を熱っぽく語った。

このあとの祝賀パーティーでは西岡会長と星野昌志経済産業省製造産業局素形材産業室長があいさつし、村井米典副会長の音頭で乾杯。70年の歴史を振り返る記念動画を上映し、有志が参加したイベント「誰でもできるエクササイズ」をインストラクター指導のもと実施し大いに盛り上がった。出席者は工業会のさらなる発展に決意を新たにす中、横山達也副会長が中締めを行い盛況のうちに散会した。



エクササイズで盛り上がった